平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月2日

上場会社名　多木化学株式会社　　上場取引所　大
コード番号　4025　　URL　http://www.takichem.co.jp/
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 多木　隆元
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部統括マネージャー　(氏名) 前田　治彦　　TEL 079-437-6002
四半期報告書提出予定日　　平成23年5月12日
配当支払開始予定日　　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	8,097	△0.1	546	△2.6	580	1.3	263	△23.3
22年12月期第1四半期	8,108	6.6	561	153.4	572	148.8	343	247.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	12.18	—
22年12月期第1四半期	15.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	34,132	16,196	44.5	702.68
22年12月期	33,387	16,149	45.4	701.77

(参考) 自己資本　　23年12月期第1四半期　15,182百万円　　22年12月期　15,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	10.00	10.00
23年12月期	—				
23年12月期(予想)		—	—	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	0.7	1,000	△26.8	1,050	△26.7	650	△23.5	30.08
通期	32,500	1.8	1,300	△26.9	1,350	△28.2	800	△22.0	37.02

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。詳細は、[添付資料]3ページ「2. その他の情報 (3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期1Q	23,646,924株	22年12月期	23,646,924株
② 期末自己株式数	23年12月期1Q	2,040,451株	22年12月期	2,039,516株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期1Q	21,607,066株	22年12月期1Q	21,772,273株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また[添付資料]3ページ「当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」もご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が依然厳しいながらも、企業業績は緩やかな回復基調にありましたが、本年３月11日に発生した東日本大震災は電力供給や物流網など、社会インフラに深刻な打撃をあたえております。

このような環境のもと、当社グループは平成21年１月から推進している「第９次中期３カ年経営計画」（チェンジ２０１１）に基づいて、収益力の強化や経費削減等に努めましたが、当第１四半期連結会計期間の売上高は80億97百万円（前年同期比0.1％減）、営業利益は５億46百万円（前年同期比2.6％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（アグリ）

肥料の販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、販売価格が平成22年６月から大幅に値下がりしたことなどにより、売上高は24億65百万円となりました。

（化学品）

水処理薬剤の販売は大幅に減少し、機能性材料の販売は増加しました。この結果、売上高は28億46百万円となりました。

（建材）

新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられ、売上高は７億98百万円となりました。

（石油・ガス）

原油価格の高騰により販売価格が値上がりし、売上高は９億91百万円となりました。

（不動産）

ショッピングセンターのテナントの売上が低調に推移したことにより賃料収入が減少し、売上高は３億89百万円となりました。

（運輸）

荷動きが好調に推移し、売上高は６億５百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産等の状況

当第１四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産は341億32百万円（前連結会計年度末比７億45百万円増）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が５億14百万円増加したこと等により、159億93百万円（前連結会計年度末比９億87百万円増）となりました。固定資産は、減価償却がすすんだこと等により、181億39百万円（前連結会計年度末比２億42百万円減）となりました。

負債の部は、未払法人税等が４億５百万円減少しましたが、長短借入金が10億23百万円増加したこと等により、179億36百万円（前連結会計年度末比６億98百万円増）となりました。

純資産の部は161億96百万円（前連結会計年度末比46百万円増）となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは３億36百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは１億42百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは７億35百万円の収入となり、この結果、現金及び現金同等物の当第１四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末残高に比べ２億58百万円増加し、14億38百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益４億59百万円や減価償却費３億52百万円等がありましたが、売上債権５億14百万円増加、たな卸資産３億36百万円増加、法人税等の支払５億60百万円等があり、３億36百万円の資金の減少（前年同期は22百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

固定資産の取得による支出１億58百万円等があり、１億42百万円の資金の減少（前年同期は２億15百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払による支出２億16百万円等がありましたが、長短借入金が10億23百万円増加したこと等により、７億35百万円の資金の増加（前年同期は２億78百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災による当社グループへの影響は、たな卸資産が１億21百万円被災しましたが、その他影響額については現時点において未確定であり、平成23年２月14日に公表いたしました平成23年12月期の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想の修正は行っておりません。今後、連結業績予想に関して修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

②四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第１四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438	1,181
受取手形及び売掛金	10,225	9,711
商品及び製品	2,396	2,158
販売用不動産	47	47
仕掛品	86	149
原材料及び貯蔵品	1,586	1,544
繰延税金資産	180	171
その他	99	114
貸倒引当金	△68	△73
流動資産合計	15,993	15,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,266	17,245
減価償却累計額	△10,984	△10,854
建物及び構築物（純額）	6,281	6,391
機械装置及び運搬具	13,573	13,603
減価償却累計額	△11,952	△11,819
機械装置及び運搬具（純額）	1,621	1,783
工具、器具及び備品	1,436	1,414
減価償却累計額	△1,289	△1,277
工具、器具及び備品（純額）	147	136
土地	4,621	4,602
リース資産	7	7
減価償却累計額	△1	△1
リース資産（純額）	5	6
建設仮勘定	59	48
有形固定資産合計	12,736	12,968
無形固定資産		
のれん	83	91
ソフトウエア	44	43
その他	28	27
無形固定資産合計	156	163
投資その他の資産		
投資有価証券	4,974	4,969
繰延税金資産	32	33
その他	390	397
貸倒引当金	△151	△150
投資その他の資産合計	5,246	5,249
固定資産合計	18,139	18,381
資産合計	34,132	33,387

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,928	4,763
短期借入金	2,527	1,377
1年内返済予定の長期借入金	341	341
未払金	1,060	1,131
リース債務	1	1
未払法人税等	161	567
未払消費税等	85	73
賞与引当金	246	13
役員賞与引当金	－	17
その他	718	844
流動負債合計	10,071	9,131
固定負債		
長期借入金	1,132	1,259
リース債務	4	4
繰延税金負債	443	400
退職給付引当金	2,302	2,339
預り保証金	3,690	3,763
その他	290	338
固定負債合計	7,864	8,105
負債合計	17,936	17,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,217	1,217
利益剰余金	11,568	11,521
自己株式	△744	△744
株主資本合計	14,188	14,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	993	1,021
評価・換算差額等合計	993	1,021
少数株主持分	1,014	986
純資産合計	16,196	16,149
負債純資産合計	34,132	33,387

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	8,108	8,097
売上原価	6,102	6,100
売上総利益	2,006	1,996
販売費及び一般管理費	1,444	1,449
営業利益	561	546
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	14	17
固定資産売却益	－	14
その他	21	23
営業外収益合計	39	56
営業外費用		
支払利息	23	15
固定資産除却損	1	5
その他	2	0
営業外費用合計	27	22
経常利益	572	580
特別利益		
補助金収入	23	－
特別利益合計	23	－
特別損失		
災害による損失	－	121
特別損失合計	－	121
税金等調整前四半期純利益	596	459
法人税、住民税及び事業税	314	163
法人税等調整額	△68	18
法人税等合計	246	181
少数株主損益調整前四半期純利益	－	277
少数株主利益	7	14
四半期純利益	343	263

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	596	459
減価償却費	328	352
固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△5
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△15	△17
退職給付引当金の増減額（△は減少）	27	△36
受取利息及び受取配当金	△17	△18
支払利息	23	15
災害損失	－	121
売上債権の増減額（△は増加）	△1,088	△514
たな卸資産の増減額（△は増加）	△196	△336
仕入債務の増減額（△は減少）	389	165
その他の資産の増減額（△は増加）	92	21
その他の負債の増減額（△は減少）	△49	29
その他	4	△13
小計	94	221
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△25	△15
法人税等の支払額	△64	△560
営業活動によるキャッシュ・フロー	22	△336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△94	△158
固定資産の売却による収入	－	15
有価証券の取得による支出	△120	－
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	0	－
その他	－	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	700	1,150
長期借入金の返済による支出	△126	△126
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△220	△216
少数株主への配当金の支払額	△4	△1
その他	△68	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	278	735
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	86	258
現金及び現金同等物の期首残高	1,426	1,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,512	1,438

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。